

中期経営方針（平成25年～27年度）の概要

◇ 経営環境の認識

- 燃料費などの増加に伴う収支、財務状況の急速な悪化
- お客さまに節電をお願いするなど、厳しい需給状況
- エネルギーに対する社会的な関心の高まり
- 原子力政策など国のエネルギー政策の見直しや電力システム改革議論の進展



- 節電のお願いや料金値上げなど、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまにご負担をおかけしている状況等を十分認識し、徹底的な合理化の推進など、皆さまの声に真摯にお応えしていくとともに、国のエネルギー政策の見直しや電力システム改革を巡る議論など、当社を取り巻く諸課題にしっかりと対応していくことが重要と考えています。

◇ 基本的な考え方：「新しい九州電力の再構築」に向けて

- 電力の安定供給への姿勢を変わずに持ち続けるとともに、経営体質強化に向けた徹底的な事業活動の見直しを推進し、エネルギー政策の見直しなどの変化にしっかりと対応し、自ら変わっていくことで、お客さまから信頼され選ばれるしなやかで強い企業を目指します。

[目指す姿]

- お客さまにしっかりと向き合う会社
- 変化に迅速かつ柔軟に挑戦する会社
- 事業活動をたえまなく見直し、高い効率性を追求する会社
- 電気をお届けすることで地域・社会を支える会社

◇ 重点的な取組み

- (1) お客様の生活や企業活動、地域社会を支え、皆さまとともに持続的発展を目指すため、あらゆる面で徹底的な効率化を図ります

厳しい収支状況が続く中、一層の財務悪化を回避するとともに小売全面自由化など電力システム改革に的確に対応し、電気事業者としての責務を果たしていくため、グループ一体となったコスト管理と徹底した効率化に取り組めます。それにより、安定的な収支構造の実現を図り、お客様や株主・投資家をはじめとするステークホルダーへの価値提供を果たしてまいります。

- (2) 大きく変化する環境下でも、お客様に良質で安定した電力をお届けします

厳しい需給状況が続く中、需給両面からあらゆる対策に取り組むことで、当面の安定供給確保に努めるとともに、エネルギー政策見直しや地球環境問題などを踏まえた中長期的な電源構成を検討します。

- (3) 社会に開かれ、社会から信頼される企業を目指した取組みを推進します

ステークホルダーの皆さまからの信頼は、事業運営を行っていく上での基盤であり、信頼される企業を目指して、皆さまの声を業務運営に反映するとともに、より一層の企業活動の透明性向上など、CSR経営の徹底に努めてまいります。

- (4) 上記の取組みの土台となる組織風土改革・業務改革を推進します

「新しい九州電力の再構築」の基盤となる組織風土改革・業務改革に、社員の参画を基本に全社一体となって取り組むことで、(1)から(3)の取組みの推進を図ります。また、将来の不確実な経営環境変化などを見据えた組織のあり方を検討します。